## お知らせ

## 長良川河口堰では洪水を安全に流下させるゲート全開操作を終了 ~塩水遡上を防止し安定取水確保のため通常操作に切り替え~

1. 概要 長良川河口堰では、低気圧の影響による洪水を安全に流下させるため、4月29日(木) 17時49分にゲートを全開にしました。その後、塩水遡上を防止し水道用水等の安定取水を確保するため、4月30日(金)12時40分に全開操作を終了し、オーバーフロー操作に切り替えました。5月6日(木)に、低気圧の影響により長良川が増水したことから、洪水を安全に流下させるため、4時09分に再びゲートを全開しました。その後、堰地点流量が全開操作の基準流量毎秒800立方メートルを下回ったことから、塩水遡上を防止し水道用水等の安定取水を確保するため、8時18分に全開操作を終了し、オーバーフロー操作に切り替えました。



## 2. 状況

流域平均累計雨量	152mm (4月28日8時から3 82mm (5月 5日6時から	
堰最大流入量	毎秒約 1,400立方メートル (4月30日 2時40分)	毎秒約 850立方メートル (5月6日 5時30分)
全開操作開始時刻	4月29日 17時49分	5月6日 4時09分
全開操作終了時刻	4月30日 12時40分	5月6日 8時18分
全開操作継続時間	18時間51分	4時間09分

※上記の流量は速報値であり、今後変更になることがあります。

今回の全開操作は、平成7年7月の河口堰運用開始以降182回目、183回目であり、本年においては4回目、5回目となります。なお、令和2年までの年間(1月~12月)の平均全開操作回数は約7回です。また、運用開始以降最大の出水は、平成16年10月台風23号による洪水であり忠節地点

毎秒7,667立方メートルの流量を観測しています(国土交通省水文水質データベースより)。

- 3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、 第二県政記者クラブ (三重県)、桑名記者クラブに同時配布します。
- 4. 問合せ先 独立行政法人水資源機構 長良川河口堰管理所

総務課長 横溝(よこみぞ) 電話0594-42-5012 (代)

長良川河口堰のホームページはこちらを検索

ΗP

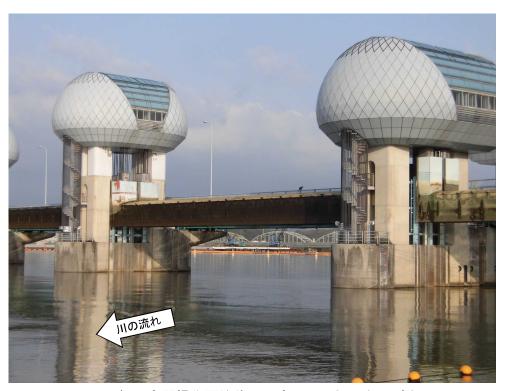
長良川河口堰

過去の管理 情報及び全 開時動画→

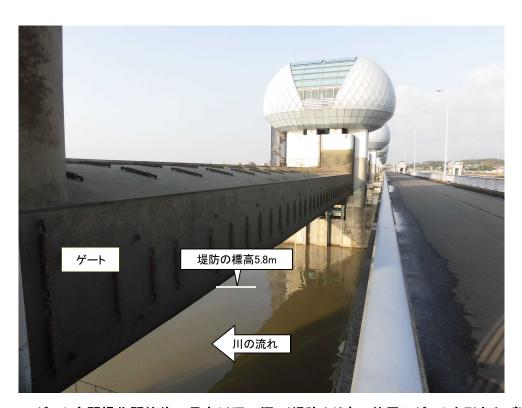


長良川河口堰 のゲート操作─





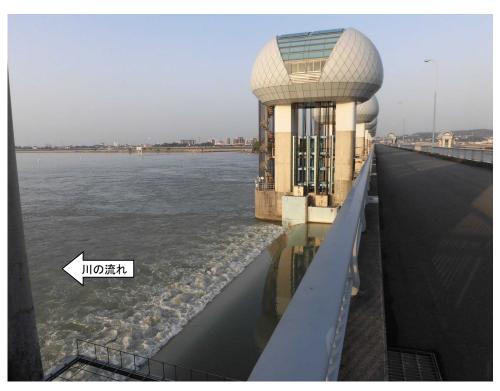
ゲート全開操作開始後の長良川河口堰 (堰下流側) (1回目) 4月30日6時撮影



ゲート全開操作開始後の長良川河口堰 (堤防より高い位置にゲートを引き上げ) (1回目) 4月30日6時撮影



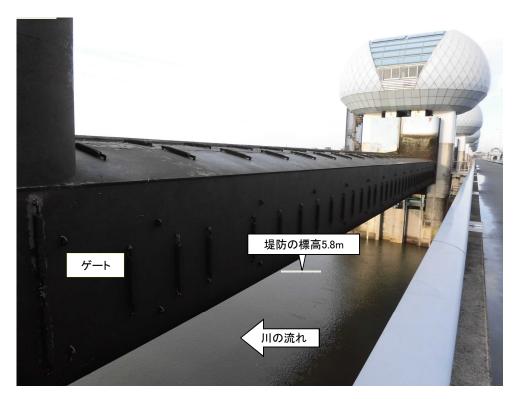
ゲート全開操作終了後の長良川河口堰 (オーバーフロー操作に切り替え) (1回目) 5月 1日 6時撮影



ゲート全開操作終了後の長良川河口堰 (オーバーフロー操作に切り替え) (1回目) 5月1日 6時撮影



ゲート全開操作開始後の長良川河口堰 (堰下流側) (2回目) 5月6日 6時撮影



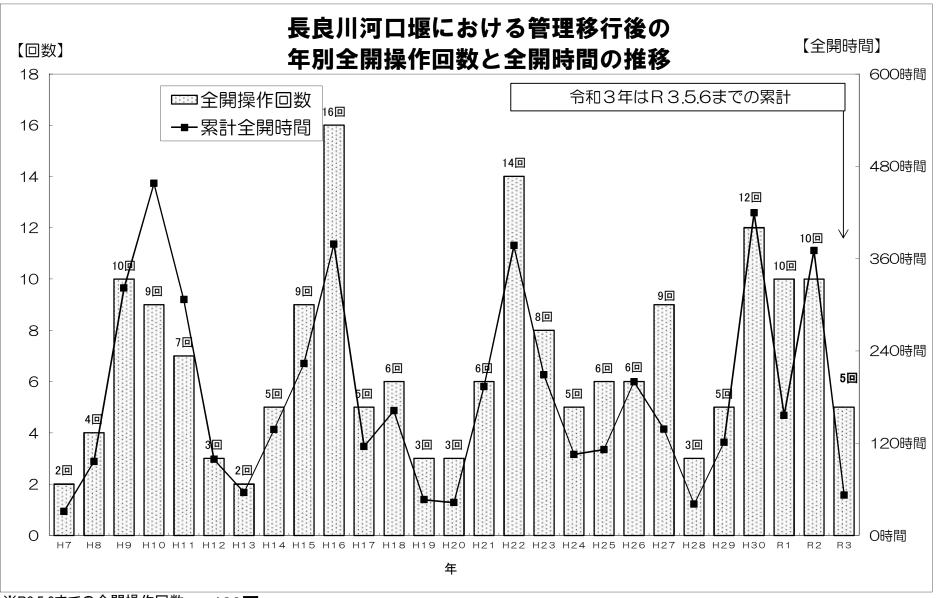
ゲート全開操作開始後の長良川河口堰 (堤防より高い位置にゲートを引き上げ) (2回目) 5月6日 6時撮影



ゲート全開操作終了後の長良川河口堰 (2回目) (全閉操作に切り替え。その後、オーバーフロー操作に切り替え) 5月 6日 9時撮影



ゲート全開操作終了後の長良川河口堰 (2回目) (全閉操作に切り替え。その後、オーバーフロー操作に切り替え) 5月6日 9時撮影



※R3.5.6までの全開操作回数: **183回** ※累計全開時間:4966時間 36分



長良川河口堰によって堰上流水域が淡水化され、新たに水道用水、工業用水の水が利用できるようになりました。 また、かんがい用水、工業用水(既得)などの既得用水についても、安定した取水が可能となっています。



